

コニカミノルタ八王子研究所見学会 感想文

先進理工学部応用物理学科 4年 竹井 翔洋

学部生でありながら、実際の企業での研究内容や、社員様のお話を伺えたことは、非常に大きな経験となりました。現在の私が感じた企業の在り方や、必要とされていることをここにまとめます。

まず、企業での研究においては、ビジネス性を大きく問われることが大学での研究との大きな違いだと感じました。立ち上げた研究・開発が企業側にメリットがないとすぐに打ち切られてしまうシビアな環境であることを伺えたことは、今後企業で研究をしたいと考えている私にとっては、意識していかなければならない点だと感じました。

また、近年問題となっている過剰な残業を避けるための企業政策が実際に研究者に与える影響を伺うことができました。大学であれば結果を出すための徹夜や休日出勤は何も咎められることは少ないですが、企業であればそうはいかないということは大変印象的でした。

これから5年間、リーディング生として活動をしていく身としては、純粹に研究を頑張っていこうと感じた半面、社会に出るためには、研究の進め方や、時間を効率的に使っていくことが重要であると感じました。この経験を無駄にしないためにも、自らのキャリアを考えながら大学院生活を送ろうと考えました。

最後になりましたが、今回コニカミノルタ八王子研究所を見学させていただく機会を与えてくださったこと、そしてお忙しい中時間を割いていただいたコニカミノルタの社員の方々に心より感謝申し上げます。